

プレスリリース [2024年5月14日]

(計2枚)

～収穫したイチゴ1粒あたりの平均重量が約15%増！～  
「ごみ処理施設で生じる燃焼ガス中のCO<sub>2</sub>をイチゴ栽培に利用する実証」  
町田市バイオエネルギーセンターでの報道関係者向け取材会の実施について

市は、イオン直営農場の運営および農産物の生産委託に取り組むイオンアグリ創造株式会社と株式会社タクマとともに、2023年11月から2026年（予定）までの計画で、町田市バイオエネルギーセンターの熱回収施設およびバイオガス化施設から出る燃焼ガスに含まれるCO<sub>2</sub>を用いたイチゴ栽培の実証を行っています（バイオガス化施設は今後実証予定）。

実証開始から半年が経過し、第1段階であるイチゴの育成評価・安全性評価検査用イチゴの収穫が終盤を迎えています。本実証下で栽培・収穫したイチゴは、比較用に設けた慣行ハウス栽培のイチゴに比べ1粒あたりの平均重量が約15%大きいことが特徴で、安全性評価検査に必要な収穫量が十分に確保でき、育成評価に必要なデータが整いました。

つきましては、本実証の概要を改めて説明し、実証結果から導いた考察を説明する機会として報道機関を対象とした取材会を株式会社タクマ、イオンアグリ創造株式会社が主催し開催いたします。

当日は、各代表者からそれぞれの役割に基づいた説明を行った後、実証ハウス内のCO<sub>2</sub>供給装置やイチゴの様子などの紹介を行います。

**■開催日時**

2024年5月21日（火） 10時～12時（受付開始9時30分）

**■開催場所**

町田市バイオエネルギーセンター

**■内 容****【第一部】10時～ 町田市バイオエネルギーセンター 管理棟3階 会議室**

- ・各代表よりご挨拶
- ・今回の取り組みについての概要説明
- ・質疑応答、個別取材

**【第二部】11時～ 町田市バイオエネルギーセンター 実証ハウス**

- ・町田市バイオエネルギーセンターからのCO<sub>2</sub>供給システムの見学
- ・イチゴ栽培実証ハウスの見学

## ■出席者

町田市 環境資源部 循環型施設担当部長 徳重 和弘

株式会社タクマ 執行役員 エンジニアリング統轄本部技術センター長 池田広司

イオンアグリ創造株式会社 代表取締役社長 福永 庸明

## ※実証試験実施体制と役割

町田市：実証フィールドおよびCO<sub>2</sub>等資源の提供

タクマ：CO<sub>2</sub>供給装置およびシステムの開発・評価、育成評価安全性評価の実施

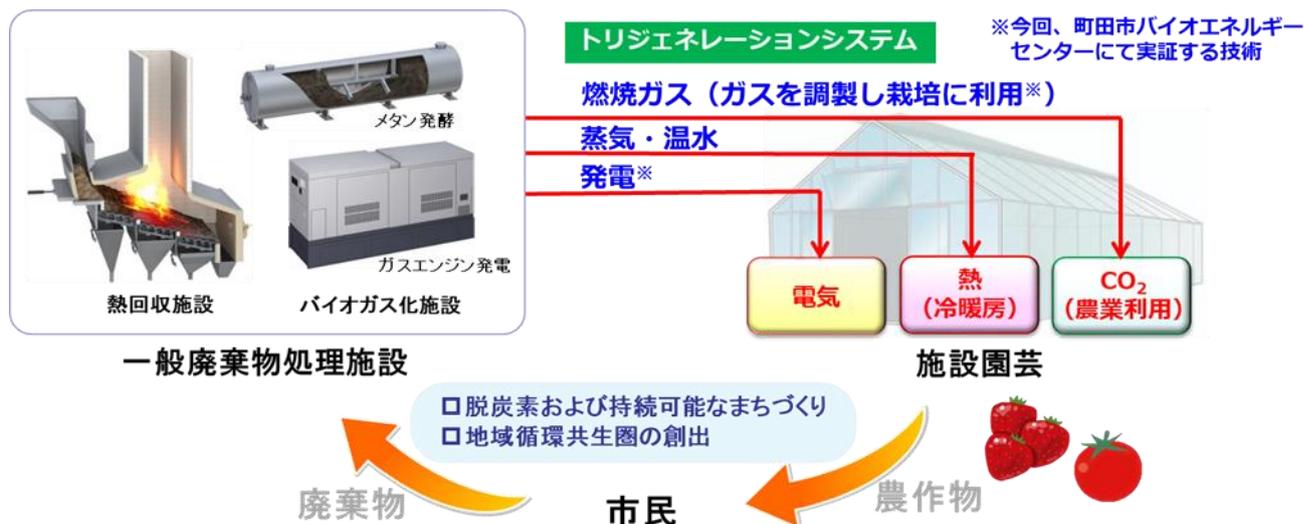
イオンアグリ創造：タクマ協力企業として施設園芸のコンサルティング（生産指導等）、農作物等の安全性評価試験の設計評価（アドバイス等）

## ※実証試験概要

本実証試験では、一般廃棄物処理施設から発生する燃焼ガス（「焼却施設の燃焼ガス」と「バイオガス化施設のバイオガスエンジンの燃焼ガス」）を適用して、温室にて農作物（イチゴ）の育成を評価（比較として工業精製された液化炭酸ガス方式も実施予定）するとともに、収穫された農作物の安全性評価を行います。

この実証試験は株式会社タクマが有する実用化技術である、木質バイオマス発電所において発生する燃焼ガス中のCO<sub>2</sub>を農作物育成に直接利用するCO<sub>2</sub>供給装置（t-CarVe®）を基礎として、廃棄物処理施設の燃焼ガスでの実証に取り組むもので、大規模施設園芸における豊富な実績を有するイオンアグリ創造に施設園芸部分でのサポートを受け総合的に検証を進めるものです。

## <取り組み概念図>



## ■本件に関するお問い合わせ先

環境資源部循環型施設管理課 課長 平川 TEL042-797-2732